

## ～読者アンケート「興味を持ったレポート」トップ3予想～

先月号の「興味を持ったレポート」の予想と結果、以下の通りです。

※2015年8月号読者アンケート

「興味を持ったレポート」トップ3 (予想)

1位：電力貯蔵装置の現状と見通し (2)  
2位：クモ糸特性繊維市場  
3位：空間認識市場の実態と将来展 (2)

※2015年8月号読者アンケート

「興味を持ったレポート」トップ3 (結果)

1位：電力貯蔵装置の現状と見通し (2) /27.1%  
2位：ナノ材料市場/26.1%  
3位：空間認識市場の実態と将来展望(2)/19.4%

⇒

※右端数値は構成比 (票数/総票数)

今回も全体的には的中となりませんでした。しかし、ここ数か月はひとつだけしか的中していませんでした。ふたつ (1位と3位) 的中させることが出来ました。この小さな成果を嬉しく思うと同時に外れた要因の整理をしているところです。2位となったナノ材料は以前から耳にするワードですが、レポートにあったように「最も活発な科学技術研究分野のひとつであるナノテクノロジーの最も重要なキーテクノロジーがナノ材料」ということですので、当予想欄的にもその予想から外してはいただけなかったと反省しています。

逆に期待したクモ糸特性繊維は関連プレーヤー数が絶対的に少ないことをもう少し考慮すべきではなかったかと思っています。

それでは今月号の予想に移ります。今月号は8月号で3位内に入ったテーマがシリーズとしてふたつ残っていますので、そろそろ的中の時を迎える条件が揃ったと期待感が高まっています。出走テーマは下記の通りです。

- ・電力貯蔵装置の現状と見通し (3)
- ・次世代立体造形技術動向
- ・空間認識市場の実態と将来展望 (3)
- ・大電力ワイヤレス給電コイル市場
- ・体重移動型ビークル市場

そして、予想は下記の通りです。今回は連載となる電力貯蔵装置と空間認識の2テーマの安定性を軸に据えましたが、今回はこのうち空間認識を落とすことにしました。個人的には一番注目しているテーマなのですが、予想的には他の3テーマが食い込む可能性が高いとの判断です。

同時にこの段階で残る2テーマを体重移動型ビークルと次世代立体造形技術に絞り込んでいます。電力貯蔵装置はここまで2位→1位と来ていますからその安定感から今号でも1位指名とします。そして、ビークルということでの注目度が高い体重移動型ビークルと適用領域が広そうな次世代立体造形技術動向は序列判断が難しいのですが、ほぼ感覚的に決めてしまいました。

2015年9月号読者アンケート「興味を持ったレポート」トップ3予想

1位：電力貯蔵装置の現状と見通し (3)      2位：体重移動型ビークル市場  
3位：次世代立体造形技術動向

編集 A